

通し番号	4729
------	------

分類番号	26-77-21-10
------	-------------

国産鶏種の組合せ検定（発育、産肉、肉質調査）	
[要約] シャモ833系統×岡崎おうはん(833×XSYC)、横斑プリマスロック88系統×岡崎おうはん(88×XSYC)、龍軍鶏ごろう×岡崎おうはん(834×XSYC)の3種類の組合せについて発育成績を比較した。834×XSYCの96日齢雄は出荷体重、正肉重量が有意に大きく、ムネ肉の加熱損失が少なく、粗脂肪が高い傾向がある。	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

国産鶏種を利用して産肉性の優れた地域銘柄鶏を作出する目的で、シャモ833系統×岡崎おうはん(833×XSYC)、横斑プリマスロック88系統×岡崎おうはん(88×XSYC)、龍軍鶏ごろう834系統×岡崎おうはん(834×XSYC)の3種類の組合せについて発育、産肉、肉質を調査した。

[成果の内容・特徴]

1 飼養方法、給与飼料は表1のとおりである。

2 出荷体重、飼料要求率(表2)

出荷体重は雄の96日齢で、834×XSYCが他の組合せより有意に大きい($p < 0.05$)。雌の96日齢、110日齢では組合せ間に有意な差は認められない。

飼料要求率は雄96日齢、雌110日齢では組合せ間に差は認められない。雌96日齢では88×XSYCが他の組合せより1ポイント高い。

3 産肉調査、肉色、加熱損失、剪断力価(表3)

正肉重量は雄96日齢の834×XSYCが他の組合せより有意に大きい($p < 0.05$)。

正肉歩留まりは、雄雌の96日齢、雌110日齢のいずれにおいても834×XSYCが88×XSYCより有意に高い($p < 0.05$)。

肉色では赤色度を示す a^* には組合せによる差は認められず、明度 L^* 値は雄96日齢ムネ肉、雌110日齢モモ肉、黄色度 b^* 値は雌110日齢ムネ肉、モモ肉で組合せによる差が見られ、いずれも834×XSYCの値が高い($p < 0.05$)。

加熱損失は雄96日齢で834×XSYCが833×XSYCより有意に少なく、剪断力価は雌96日齢で833×XSYCが他の組合せより有意に高い($p < 0.05$)。

4 一般成分、イノシン酸(表4)

粗脂肪含量は834×XSYCが88×XSYCより有意に高く($p < 0.05$)、加熱損失の値と合わせると834×XSYCは多汁性が高いと考えられる。旨み成分であるイノシン酸は組合せ間で有意な差は認められない。

[成果の活用面・留意点]

本試験の供試鶏は10月31日え付け鶏である。

[具体的データ]

表1 飼養方法、給与飼料

日齢	飼養方法	供試羽数	給与飼料	飼料成分
0～7	立体育雛器	50羽×1反復	餌付け用	CP24% ME3000Kcal/kg
7～26			育成前期用	CP21% ME2900Kcal/kg
26～70	平飼い 1区画6.2m ² (7.3羽/m ²)	45羽×1反復	育成中期用	CP17.5% ME2850Kcal/kg
70～110			育成後期用	CP14% ME2750Kcal/kg

表2 出荷体重、飼料要求率

組合せ	出荷日齢	出荷体重 (g)	飼料要求率
833×XSYC	96	3,239 ^b	3.5
♂ 88×XSYC	96	3,182 ^b	3.5
834×XSYC	96	3,456 ^a	3.5
833×XSYC	96	2,214	3.8
♀ 88×XSYC	96	2,181	3.9
834×XSYC	96	2,136	3.8
833×XSYC	110	2,349	4.3
♀ 88×XSYC	110	2,402	4.3
834×XSYC	110	2,301	4.3

※同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

表3 正肉重量、正肉歩留、肉色、加熱損失、剪断力価

組合せ	出荷日齢 (日)	正肉重量 (g)	正肉歩留 (%)	肉色						加熱損失 (%)	剪断力価 (kg/cm ²)
				ムネ肉			モモ肉				
				L*	a*	b*	L*	a*	b*		
833×XSYC	96	1,215 ^b	37.6 ^{ab}	56.5 ^b	2.6	13.5	48.3	13.7	12.7	21.2 ^a	1.4
♂ 88×XSYC	96	1,147 ^b	36.0 ^b	57.2 ^b	2.6	14.7	49.5	13.4	13.2	20.0 ^{ab}	1.6
834×XSYC	96	1,360 ^a	39.6 ^a	59.3 ^a	2.2	15.7	49.6	14.4	14.4	17.9 ^b	1.9
833×XSYC	96	858	39.0 ^{ab}	59.6	2.6	15.9	49.4	14.0	14.7	21.6	1.9 ^a
♀ 88×XSYC	96	831	37.5 ^b	57.6	2.2	15.2	48.1	13.9	14.0	18.5	1.5 ^b
834×XSYC	96	840	39.5 ^a	57.8	2.8	16.1	49.3	13.7	14.4	19.5	1.5 ^b
833×XSYC	110	943	40.2 ^{ab}	58.9	2.6	15.0 ^b	49.2 ^{ab}	12.1	13.7 ^{ab}	24.0	1.8
♀ 88×XSYC	110	926	38.8 ^b	57.8	3.4	15.5 ^b	47.8 ^b	13.5	13.1 ^b	23.4	1.4
834×XSYC	110	950	41.0 ^a	57.8	2.9	17.4 ^a	49.8 ^a	13.6	15.7 ^a	22.8	1.7

肉色 L*:0黒 100白 a*:+赤 -緑 b*:+黄 -青

※同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

表4 一般成分、イノシン酸 (96日齢♂)

組合せ	水分 (%)	粗蛋白質 (%)	粗脂肪 (%)	イノシン酸 (mg/100g)
833×XSYC	73.3	24.5	0.77 ^{ab}	109
88×XSYC	73.8	24.1	0.44 ^b	105
834×XSYC	73.1	24.7	0.99 ^a	106

※同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

- [資料名] 平成26年度試験研究成績書
 [研究課題名] 地域銘柄鶏の作出に向けた組合せ検定
 [研究期間] 平成26年度
 [研究者担当名] 平井 久美子